

今後に備える

正しい情報を手に入れる



災害時は情報が混乱し、SNS でデマが拡散されることがあります。

国、大阪府・市、気象庁などの公的機関や、新聞社、テレビ・ラジオ局などの報道機関といった発信元が明らかな一次情報を確認し、慌てずに行動しましょう。



天王寺区役所
公式 LINE



天王寺区役所
公式 Twitter



大阪市危機管理室
公式 Twitter

スマートフォンを活用した災害対策

災害時に役立つアプリを平時にダウンロードしておき、あらかじめ使えるようにしておきましょう。



大阪市防災アプリ

浸水想定図、避難場所、避難ビルなどの情報をはじめ、災害状況や避難時の注意点などが入手できます。4か国語に対応しています。



NHKニュース・防災アプリ

NHKが発信するニュース速報や災害・避難情報をプッシュ通知で受け取ることができます。ライブ映像もあり、雨雲や台風・河川情報も入手できます。



Yahoo!防災速報

地震や気象情報だけではなく、防災情報などもプッシュ通知で確認することができます。現在地以外に自宅や職場付近の位置設定も可能です。



Osaka Safe Travels

大阪府が外国人旅行者の大阪滞在が安心・快適なものとなるよう、災害時等に必要な情報を多言語（12言語）で一元的に提供しているサイト、アプリです。



地域での助け合い

一人の力ではできないことも、隣近所で力を合わせるにより、できることがたくさんあります。家族の安全を確認したら、隣近所で声を掛け合って「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで協力し、助け合いましょう。

地域行事や防災訓練に参加する

それぞれの地域で、安全安心なまちづくりを目指して、様々な地域行事や防災活動を行っています。

日ごろから、地域での活動に参加し、隣近所でコミュニケーションを図りましょう。

【地域での防災訓練の様子】



避難者受付



炊き出し訓練

避難行動要支援者

突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障がい者、外国人、妊産婦、子どもなど、まわりの人の手助けが必要な人（避難行動要支援者）です。次の点を参考に災害の被害から守りましょう。



- 日ごろから交流する。
- 一緒に防災訓練を行う。
- その人の身になって防災環境を点検する。
- 災害情報を伝達し必要に応じて一緒に避難する。

安心安全カードをご活用ください

「**安心安全カード**」は、あなた自身の情報を記入しておくことで、「いざ」というときに、自分自身の安全を守り、避難行動要支援者の支援にも役立つカードです。裏表紙に縮小版を掲載していますので、ご活用ください。



災害発生時の地域での助け合い

地震発生時には、隣近所で声かけ、安否確認、救助活動、出火防止の呼びかけ、初期消火、情報伝達、避難の支援を協力して行いましょう。

- 高齢者などがいる世帯に積極的に声をかけ、安否を確認する。
- 大きな余震が断続的に続いているとき、火災が広がったときなど二次災害の危険があるときは、無理して救助活動を行わない。
- 本人の家族の了解なしに、勝手に建物の一部を破壊したり、家の中の物を持ち出したりしない。

災害発生

自分・家族の
安全確認
(自助)地域での
助け合い
(共助)

マンションでの共助の取組み

マンションなどの共同住宅の多くは耐震化が進んでおり、大地震でも倒壊などの危険性がなければ、住み慣れた自宅での在宅避難が可能です。

しかし、エレベーターやライフラインの停止など、災害時に発生する様々な問題には、居住者同士で協力して取り組む「共助」が大切です。

天王寺区では「高層マンション防災ハンドブック」を発行しています。ぜひご活用ください。

災害から地域を守ります！
災害救助青年部

地域で「災青」の愛称で親しまれている天王寺区地域振興会・赤十字奉仕団災害救助青年部は、地震等の大規模災害発生時に区民の安全を守る自主防災組織として、昭和59年に他区に先駆けて発足しました。

災害救助青年部は、住民の防災活動の中核となる地域防災リーダーとして、災害発生時、住民の先頭に立って、初期消火、救出救護活動等を行うため、日ごろから様々な訓練を行っています。

